



宇治田原町の教育

発行 平成26年 3月
宇治田原町教育委員会
事務局（教育委員会教育課）
宇治田原町岩山沼尻46-1
TEL (0774) 88-5850
(ホームページ) <http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/education/>

宇治田原町教育委員会では、学校教育、社会教育、社会体育の各分野で地域、保護者の皆様方のご理解とご支援により進めています。各事業の取組について、住民の皆様に分かりやすく説明するため、新たに「宇治田原町の教育」を発行することになりました。

第1号は、本町教育委員会が町立小中学校と連携し取り組んでいる「小中一貫教育」を取り上げました。今後も、本町の町づくり総合計画で示された「学力・創造力・思いやりを育てる教育環境の向上」等、教育委員会が推進する事業の方針や内容等について、広報させていただきます。

小中一貫教育の展開

「ふあさと宇治田原を愛し、未来に羽ばたく子どもたち」の育成をめざして

宇治田原町教育委員会はなぜ、小中一貫教育を進めるのか

本町の子どもたちは、地域の人々の温かい見守りの中で学校生活を送ってきました。しかしながら、近年、少子高齢化や情報化が進み、三世帯家庭の減少や保護者昼間不在家庭の増加等、子どもたちの成長に影響のある社会現象が、本町でも表れてきています。

文部科学省や京都府及び学校が実施した学力や学習・生活状況に関する調査においても、本町の子どもたちは、全体的に学校外での遊びや家庭学習の時間が少なく、パソコンやゲーム機、携帯電話等に関わる時間が多いこと等、学校と家庭、地域が連携して早急に改善しなければならない項目が見られます。また、一部、子どもたちの中には自分に自信が持てなかつたり向上心に乏しい傾向も見られ、このことが学力不振や学校内外での生活の乱れ等に結びつくのではないかと考えています。このような中、本町立3小中学校では、子どもたちの学力の向上や問題事象の解決には、小学校と中学校が協働して教育力を高めた指導が不可欠と考え、子どもたちの小中9年間の教育活動の指導方針や考え方を連続し、一貫した指導とすべく取り組んできました。教育委員会では、今後も、3小中学校の連携をこれまで以上に密にし、将来にわたって町の義務教育を充実させるため、以下のようなねらいをもって小中一貫教育を推進しますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

義務教育9年間を見通した教育とは

① 学習指導要領に基づく9年間を見通した教育

田原、宇治田原両小学校と維孝館中学校では、共通の「育てたい子ども像」の実現をめざし、学習指導要領に基づき9年間を見通した教育目標の設定や指導内容の計画など、特色ある教育課程を編成し教育実践を行います。

② 9年間を見通す年間指導計画の作成と系統的な指導

小学校と中学校の各指導内容を9年間のまとまりとしてとらえ、内容の系統性や子どもたちの発達段階に応じた重点事項、つまずきやすい内容を明確にした指導計画を作成します。

③ 小学校と中学校の教員の連携による指導

中学校の教員が教科の専門性を生かし、小学校の教員と協働して音楽科や外国語活動の授業を行うことで互いの教育内容を共通理解し、教員の指導力の向上を図ることにより、小学校と中学校の学習を滑らかに連続させる指導を行います。

④ 小学生と中学生との交流活動・合同学習

小学校と中学校の合同授業や行事、異年齢交流、部活動体験等の小学生と中学生の交流を計画的に行い、児童生徒の自尊感情を高め、育てたい子ども像の実現をめざします。

中学生の読み聞かせと小学生の演奏交流



小学校児童会と中学校生徒会の交流会



小中一貫教育によって期待される効果として

- ① 9年間を見通した系統的な学習指導により、子どもたちの学習意欲の向上や学習習慣の確立が望め、基礎学力の定着が期待できます。
- ② 9年間を見通した系統的な生徒指導により、子どもたちの規範意識を向上させることができ、問題行動の発生件数を減らすことが期待できます。
- ③ 9年間を見通した、地域に根差した特色ある教育活動により、これまで以上に郷土を愛し誇りを持つ子どもたちを増やすことが期待できます。
- ④ 維孝館中学校区を単位とした地域・保護者同士の連携を一層深めることができ、学校・家庭・地域社会が、より一体となって学校をサポートできる体制を作ることが期待できます。

今後、進める小中一貫教育の具体的な内容は

◆ 「育てたい子ども像」を掲げ、次の目的で、

- ① 子どもたちが前向きな意欲を持って学校生活を送り、学力の向上を実現すること
- ② 子どもたちが豊かな人間性や社会性、集団の絆の中で行動できる力を身に付けること
- ③ 小中学校教員の協働意識と指導力を高め、9年間のつながりのある教育を推進すること

◆ そのために、次のようなことを行います。

- ① 2小学校と維孝館中学校が、より一体化した学校運営
 - ◇ 必要な各種校務組織の共通化と会議の合同化
 - ◇ 各行事日程や内容の調整と可能な行事の合同開催
 - ◇ 子どもたちの交流と教職員の協働の実践
 - ◇ 小中一貫教育校「学園」構想の企画と具体化
- ② 9年間の成長を見通した系統的な学習指導
 - ◇ 9年間を見通した教科カリキュラムの作成
 - ◇ 小中学校教員合同の授業の研究と実践
 - ◇ 9年間を見通した学習の方法や規律の指導
 - ◇ 小学校6年生の中学校の教科授業や部活動の体験
 - ◇ 小学校高学年から教科担当による授業の導入
 - ◇ 学習状況に応じた必要な補習の実施

宇治田原町の小中一貫教育で 「育てたい子ども像」

- ◇ 夢に向かって自ら学ぶ子
 - ◇ つながり（絆）を大切にする子
 - ◇ 誇りを持ってふるさとを語る子
- ふるさと宇治田原を愛し、
未来に羽ばたく子どもたち

小学校6年生が中学校の教科学習や部活動の体験



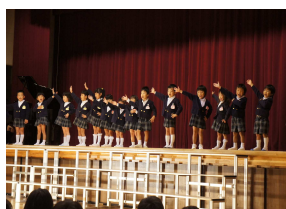
地域の講師を招いて中学生が町づくり学習



- ③ 子どもたちの9年間の発達を見据えた継続性のある生徒指導と豊かで健やかな心身の育成を図る指導

- ◇ 9年間を見通した生活のきまりや校則の共通した指導
- ◇ 一人一人の子どもに寄り添う生徒指導と継続的な教育相談活動
- ◇ 異学年同士の交流活動や児童会と生徒会の共同活動

小学生と保育所、幼稚園幼児の交流



中学生と保育所幼児の交流



地域の人に学ぶ小学生



- ④ 保護者・地域と連携して推進する教育

- ◇ 保護者と連携した家庭学習の充実（「家庭学習の手引き」の配布と活用、一人一人の児童生徒に応じた家庭学習）
- ◇ 地域や保護者の皆様から成る社会人講師による学校への指導支援や各種ボランティア活動

教育委員会は、今後、「宇治田原町小中一貫教育推進協議会」に出される学校側からの情報や提案、協議会委員の皆様のご意見等を踏まえ、宇治田原町の特色ある小中一貫教育の進め方や将来の小中学校の施設のあり方等について、町民の皆様のご意見を伺うとともに丁寧な説明に努め、方針を定めたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。